

筑 紫

会報 第66号



発行者 社会福祉法人筑紫会 理事長 吉原 毅
 障害者支援施設 真壁授産学園 電話 0296-55-4007
 〒300-4422 茨城県桜川市真壁町亀熊 1464-1
 障害者支援施設 真壁厚生学園 電話 0296-54-2578
 〒300-4422 茨城県桜川市真壁町亀熊 8 5 2
 編集 筑紫会報 編集委員会



4年ぶりの小旅行 ～たくさんの思い出ができました～ 真壁授産学園・真壁厚生学園

目次

- ・行事のお知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 P
- ・溶岩窯パン工房マカパン十一周年祭を終えて・・・・・・・・・・・・ 2 P
- ・障害とは？障害者福祉論を学ぶ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 P
- ・研修報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 P
- ・施設内外行事・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 P
- ・イベント・外出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5 P
- ・成長を続ける仲間たち～GHご入居者様～・・・・・・・・・・・・・・ 6 P
- ・桜川市特産品『桜川アイス』完成！・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7 P
- ・施設内改修工事完了報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7 P
- ・ありがとう善意の心・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8 P
- ・新規職員紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8 P
- ・入、退所者のお知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8 P
- ・情報発信とのお知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8 P
- ・編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8 P

§ 行事のお知らせ §

三月	三日	三者面談 (授産・厚生)
五月	三日	合同運動会・終了後後援会総会
六月	三日～五日	ゴールデンウィーク休み
六月	八日	奉仕作業
八月	十二日	合同夏祭り・終了後帰宅外泊
	十二日～十六日	夏期休暇
	十九日	通所登園開始日

お知らせいたします行事につきましては、
 新型コロナウイルス感染症等の感染状況に
 より、中止となる可能性がございますので、
 ご理解とご協力の程宜しくお願い致します。



溶岩窯パン工房マカパン十一周年祭を終えて



溶岩窯パン工房マカパン十一周年

マカパン店長 飯島正美

【十月二十八日】

令和五年十月に溶岩窯パン工房マカパンは十一周年を迎えることができました。これもひとえに、共に働くご利用者様、ご父兄の皆様、地域の方々、そしてマカパンに関わってくださったすべての皆様のお陰と深く感謝申し上げます。その思いを形に変え、感染症対策を十分に行った上で、『マカパン十一周年祭』を実施させていただきました。

◆全員野球、地域の皆さまとの連携

ご利用者の皆様や地域の皆様に楽しんでいただきたという思いから、様々な分野で当法人と関わりを持ってくださったいる安達勇人さん（桜川市出身。いばらき大使・さくらがわ応援大使）へ、今回の周年祭も応援を依頼させていただきました。

県内外から出演や仕事のオフアが増え、ご多様な状況にも関わらず、「筑紫会の皆様に恩返しをしたい。行きます！」と力強いお言葉をいただき、当日は軽トラライブをご披露いただけることとなりました。

その他、『29

4コーヒー』、

『授産学園産・

厚生学園産の野

菜や果物』、『厚

生学園手芸班作

品』の販売、『授

産学園創作活動

班の展示』、マカ

パンではミニパン

詰め放題や抽選会

等、『筑紫会の全

活動班で会場いた

いた皆さまへのお

もてなし』、そして、

初の試みとして、

市内を中心に『ク

ラフトやワークショップ

の活動を行って

いる複数の事業所

様のご出店』、そ

他にも地域の事業

所の皆様にご協力

いただき、数多くの

企画を実施する

運びとなりました。

このように両施設

だけでなく、地域

の方々を巻き込ん

だ過去最大規模の



マカパンオリジナル

キャラクター

『AR ボクセルまさみくん』

◆最幸の一日

当日、オープンの時間帯は雷雨で、一時不安にもなりましたが、約一時間後には天気が回復し、これまで行ってきたプロモーションの成果、そして何より『安達勇人さん効果』が絶大で、駐車場が埋め尽くされるほどの大賑わい、そこには誰も見たことのない景色が広がっていました。ここ数年間で最大の来店者数であり、当日準備した約1万個のパンも完売することができました。もちろん、マーケットにも多くのお客さまが足を運んでくださいました。

◆今後の課題への取組

それでも俯瞰してイベントを評価すると満点には少し遠く、ブラッシュアップや改善を図り、今後の運営や翌年度の周年祭に繋げていかなければならない課題も多々あると感じています。

今年度も大きなトラブルや事故なく、無事終えることができたことに安堵しています。準備や運営、片付けに携わっていたご利用者様や関係者の皆様、職員が『来てくださった全ての方に喜んでいただこう。そして、自分たちも目一杯楽しもう』という共通の目標を持ち、所属関係なく取り組んで下さったお陰と心より感謝いたしております。

◆未来へ

今回の周年祭を通して、自分たちの思いや考えを一つの形にすることができ、ご利用者様及び携わっていただいた支援員全員が達成感を得ることができたのではないのでしょうか。また、それだけでなく、ゼロから一を創出することの大変さを体感しつつ、最後まで責任を持って仕事をやり抜く力や自信を得ることもできたように感じます。たくさん笑顔に囲まれ、社会や地域の一員としてご利用者様及び職員が自身の仕事のやりがいや意義を体感できたかけがえのない一日となりました。

◆マカパンの役割とは

今後このような機会を創出することに努め、法人や地域において、マカパンや個人が果たすべき役割を常に考え、より地域に根差した存在となれるよう考動していく所存です。

結びに、今回の周年祭に関わってくださったすべての皆さまに心より感謝申し上げます。今後ともご指導のほど、よろしくお願致します。



福祉の歴史を知る 障害者福祉論研修

近年、障害者に関する制度や環境は変化し、支援の多様化が求められています。それに伴い、職員により福祉について理解を深めてほしいという理事長の思いから、十二月四日、理事長が講師を務め、職員を対象とした障害者福祉論の研修を行いました。

○研修にて

現在は様々な制度や法律が定められ、障害者支援を取り巻く環境は充実してきています。しかし、初めから整った法律は存在せず、様々な試行錯誤と変更のもと、現在の体制が成り立っています。今回の講義ではまず、どのような歴史で障害者支援の制度や法律ができたのか、その経緯について、時代の背景に基づいて説明をいただきました。

今後、障害者支援をするにあたって、支援員として求められる視点・視野の広さ、ご利用者様に目を向けるのはもちろんのこと、自分自身のことを振り返りながら支援に当たることが大切であるといった話がありました。

今回は、研修を受けた支援員の声をご紹介致します。

【真壁授産学園 支援員 老田成男】

○可能性を広げる考え方

今回理事長の研修を受け、今後は自分の考え方ももっと柔軟にする必要があると感じました。現在授産学園におけるご利用者様への支援は、歴代の諸先輩方や自分たちが積み上げてきた土台をもとに行っています。

少しずつ新しいことを取り入れてきましたが、土台から作り替えていくということには消極的でした。しかし、今回の研修を経て、活動の内容にとらわれず、ご利用者様の持っている可能性をより伸ばしていきたいと感じるようになりました。

○今後の課題と取り組み

ここ数年ご利用者様の高齢化に伴い、体力や身体機能の低下が課題とされています。ただ身体面の支援を行うだけでなく、ご利用者様の意欲や活力が湧き、楽しく取り組めるような精神面の支援も取り入れ、ご利用者様のQOLを充実させていけるよう努めていきたいと思えます。

全国的障害

福祉関係職員研究大会

【真壁厚生学園 支援員 高橋祥太】

今回、山梨県で開催された全国的障害福祉関係職員研究大会に参加させていただきました。現在の障害者福祉における法制度の重要なポイントである『権利擁護』『地域共生』についてそれぞれ講師の先生方から貴重なお話を聞かせていただきました。

今回の研修は、改めてご利用者様の『思い』や『意思』をないがしろにしてはいけないかということを確認する

ハラスメント研修

【真壁厚生学園 副主任 高久知美】

令和四年四月に改正労働施策総合推進法の施行により、当法人では定期的にハラスメント研修を実施しています。

社会的にハラスメントにおける理解や認識は広まっており、法人職員も、どのような行為や言動がハラスメントに値するか理解が深まってきたように思います。しかし、一概にハラスメントと言っても、分かりやすい事例ばかりではないことから、実際に起きた事例を自分たちに当てはめて、それが該当するかどうか、その根拠について

良い機会となりました。また、事業所や地域と繋がりを持つことでご利用者様に良い影響を与えられる可能性があることも学びました。

今後の社会情勢を踏まえ、私自身『権利擁護』と『地域共生』は障害者福祉にとつて最大のニーズになってくると感じました。しかし、時として『良い支援をしたい』という思いがご利用者様の意思に反してしまう場合もあるかと思えます。そんな時こそ、ご利用者様の意思を尊重し、どのように地域へ参画していけるかという点を考慮しながら、ご利用者様の幸せを今後も追及していきたいと思えます。

て具体的に学べるような研修を企画しました。

また、ハラスメントの理解が深まることで起きる弊害として、何かするたびに『ハラスメントになるのではないか』という考えが過り、正しい教育やコミュニケーションが職員間で図れなくなるという可能性があります。その為、今回の研修では、そうならないような教育や指導方法、該当する場合の対処法についても、具体的な解決策と共に説明を行いました。

今後定期的な研修を行い、よりハラスメントに対する正しい知識を身に付けた上で業務にあたるよう研鑽を積んでいきたいと思えます。

第二十二回 筑紫会合同学園祭を終えて

実行委員長 眞壁授産学園 藤田浩幸

【十一月二十三日】

◆四年ぶりの開催！

十一月二十三日（勤労感謝の日）、この日は言わずと知れた当法人の学園祭の日です。令和二年以降、コロナ禍の影響で開催できませんでした。今年令和五年、実に四年ぶりに授産学園、厚生学園、ご父兄様、一般のお客様を迎えて盛大に開催する運びとなりました。

開催するにあたり、新機軸を、と考えてはみたものの、やはり四年の歳月、ブランクは大きく感じられました。そのため、いろいろな方面からのご助言、ご指導を仰ぎなんとか新生『筑紫会合同学園祭』と、名称も違う響きに辿り着きました。



◆盛り上がったステージ発表

今回の学園祭は従来にない新たな発想を盛り込んだ形式を取り、イベント関係でもテーマに沿った『地域と笑顔でつながる つくしの輪』を実践したかたちで開催する運びとなりました。

授産学園、厚生学園のご利用者様によるステージ発表に加えて、市立桜川中学校吹奏楽部様、県立下館二高ダンス同好会様、眞壁桜乃舞様といった地域で活動、活躍している方々の出演が実現しました。

午後からは、さくらがわ応援大使等を務めている安達勇人さんのライブが催されるなど、和気あいあいとした中で大いに盛り上がりました。さらに、吉本興業株式会社所属のお笑い芸人、上原チヨーさんのトークショー、司会者兼イベントとしての光る存在もあり、今までにはない華やかさが感じられました。

◆豊富な模擬店に大満足

模擬店関係では、焼きそばやフランクフルト、フライドポテトに揚げたこ焼き、ラーメンやさつまいもおこわに加えて、マカパンや294COFFEの売店もあり、四年間のブランクを感じさせないほどの賑わいでした。

今回初の試みとして、クレープのキッチンカーで有名なめぐみ食堂様による売店が実現し、ご利用者様、一般の方々からも本格的なクレープの味が堪能できたと好評でした。さらに、従来の『後援会の店』も実現し、そば、うどん、もつ煮、大学芋などバリエーション豊かなメニューを作っていたいただき、さまざまな味を堪能できました。

◆縁日コーナーも好評でした！

食の楽しみ他に、射的やお菓子引き、スーパースクイといいった縁日コーナーも充実しており、ご利用者様はもちろんのこと、来園された皆様の笑顔もたくさん見られました。童心に返って楽しむ皆様の姿が印象的で、やはり縁日は外せないと感じた次第です。



◆終わりに

今回の筑紫会合同学園祭の成功におきましては、授産学園、厚生学園、ご父兄様、地域の皆様の連携や関係者の皆様のご協力があったからこそであり、改めて『人の力』というものの大きさを感ずることができました。ご利用者の皆様、今後も地域の一員として主体的に生活していくためにも、職員一同尽力して参りますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この度はご多忙にもかかわらず、多くの方々にお集まりいただき、たくさんのご協力をいただきましたこと、この場を借りて深く感謝申し上げます。



クリスマス会

☆サンタさんが来た☆

授産学園 十二月二十三日

厚生学園 十二月二十五日

☆ビンゴにダンスで盛り上がる！

授産学園では、何が当たるか毎年の皆さん最大の楽しみ、ビンゴ大会から始まりました。なかなかビンゴにならずソワソワしているご利用者様もいましたが、最後には皆様、サンタさんから素敵な景品を受け取り大満足でした。今回はブルービー賞も用意したことで最後までワクワクしながら参加していただけました。

☆乾杯！

厚生学園は、今年も会場を交流ホーム二階にセッティングして開催しました。まず、恒例のシヤンメリーで乾杯し、テーブルに並んだオードブルやピザなど好きな食べ物を食べて、皆様おながが満たされたところで次のイベントへ。

☆大満足のクリスマス♪

午後は、創作活動班のダンス発表！オンライントレーニングの山田トレーナーに考えていただいた振り付けで、各々練習の成果を存分に発揮しました。

☆ケーキでクリスマス気分♪

おやつにはクリスマスにちなんだ色とりどりのケーキから好きなものを選んでいただき、おいしいね！と味わって食べました。終始、クリスマス気分を満喫した一日となりました。



新年会で晴れやかな気持ちに

〔☆抱負・食事・娯楽☆〕

【授産・厚生】一月八日

令和六年の幕が上がり、両施設それぞれで新年会を行いました。今年も、ご利用者様一人一人に新年の抱負を発表していただきました。

授産学園では、じゃんけん大会やビンゴ大会を行い、大変盛り上がり楽しく過ごしました。また、今年新成人となったご利用者様への花束贈呈もありました。昼食は新年を祝う色あざやかなちらし寿司、そしておやつと美味しいいただきました。

動物園に遊園地、豪華なご飯♪

〔☆日帰り小旅行☆〕

【授産学園】十二月十九日

ご利用者様十五名、職員八名で、栃木県へ日帰りの小旅行に出かけました。

目指すは宇都宮動物園。ホワイタイガー、熊、ライオン、キリンなど、迫力ある動物やかわい動物達の姿に、皆様の喜んだり、感動し



厚生学園では、干支のアニメを観たり、グラウンドで凧あげをしたりしてお正月の雰囲気を楽しんでいただきました。昼食はマカパンの菓子パンやピザ、焼きそばなどの豪華な食事をバイキング形式で自由に選んで食べていただき、皆様とても満足した表情でした。たくさん食べて笑って、とても晴れやかな気持ちで新年を迎えられたことと思います。



たりしながら見ている姿が印象的でした。園内には他にも小さな遊園地があり、ジェットコースターやヨーヒーカップ、ゴーカートなどに、笑顔いっぱいに楽しみました。

昼食はスタミナ太郎でバイキング。色々な料理が食べ放題で、おいしい食事と会話を楽しみながら、おなかもちもちも満たされました。

感染症対策でなかなか外出もままならない日々が続きましたが、久しぶりの外出となり、とても充実した一日となりました。ご利用者様と職員の絆も深まり、今後もこのような機会をたくさん作り、皆様の充実した時間を支援したいと思えます。

四年ぶりの施設旅行を満喫

【真壁授産学園 支援員 川上麻衣】

◆那須旅行を満喫♪

九月から十二月にかけて、五グループに分かれ小旅行という形で那須方面へ旅行に行きました。宿泊したホテルは、全グループが同じホテルエピナル那須でしたが、観光場所などはそれぞれのグループで自由に決めました。私達のグループは、一日目に那須動物王国を観覧し、二日目にトレジャーストーンパークや大谷資料館へ行き、最後にハートランドでお土産を購入しました。

◆楽しみ盛りだくさん！

ご利用者様からは数日前からワクワクしているのが伝わり、当日には朝から荷物を持って廊下に待機している方もおり、とても楽しみで待ちきれないといった様子でした。

宿泊先のホテルのビュッフェでは、普段では食べる機会の少ない料理や、各々の好きな物を選んで召し上がり、おかわりをする方がほとんどでした。また、ホテル内の温泉がとて広く、小さな滝もあって非日常感を味わえたのではと思います。

また、トレジャーストーンパークでは、パワーストーンの発掘体験を行いました。取ったストーンは袋に入れて

持ち帰ることができ、ご利用者様も大満足な様子でした。職員も一緒に無我夢中で発掘し、夢のような時間はあっという間に過ぎていきました。

◆初めての経験を経て

「すごい！」「綺麗！」と声に出して伝えてくださる方や、声に出さずとも時折笑顔を見せてくださる方、出発時誰よりも早く車に乗り込む方もおり、久しぶりの旅行を満喫する様子が見て取れる場面が多々ありました。

私自身、新型コロナウイルスの流行後に入職しており、初めての施設旅行だったため、コロナ禍では見られなかったご利用者様たちの表情や言動に触れることができました。新鮮な気持ちになると同時に、これからも皆様の笑顔のために支援していきたいと感じました。

温泉に入った後、観光地で写真を撮ったりと、ご利用者様も職員も存分に旅行を楽しむことができ、また一つ楽しい思い出が増えたのではないかと思います。



【真壁厚生学園 支援員 岡本早稀】

♪こちらも那須へGO！

ご利用者様より旅行の希望があり、栃木県那須方面に出掛けました。一日目は那須とりつくあーとびあのトリックアート迷宮館、二日目はりんどう湖ファミリー牧場に行き、旅館は昔日オールドデイズに宿泊しました。久しぶりの旅行であったため、数日前の荷物の準備から皆さんソワソワする様子が見られました。

そしていざ出発。途中のサービスエリアでは、好きなお菓子をたくさん購入するご利用者様もおり、車の中で召し上がって遠足気分を味わっていました。

一日目の那須トリックアート迷宮館では、トリックアートで作られたアドベンチャーゾーンやメルヘンゾーン等があり、実際に体験して楽しむことができました。また、思い出に残る写真をたくさん撮ることができて素敵な思い出になったと思います。

♪旅館での至福のひと時

旅館は那須の豊かな自然に囲まれた隠れ宿で、お部屋には内湯の他に温泉露天風呂と二人用岩盤浴サウナがあり、ゆっくり湯船に浸かることで日頃の疲れを癒しました。

また、夕食

朝食とも地元食材を使用した季節ごとのメニューを厳選した味わい深い創作料理を堪能し、普段小食なご利用者様もおかわりをするほどでした。

♪二日目も夢の中

二日目のりんどう湖ファミリー牧場では、メリーゴーランドやジャングルスイング、観覧車等、各々が好きな乗り物に乗り、弾ける笑顔で楽しんでいました。園内にはバッテリーセンターやアーチェリーが体験できるコーナーもあり、普段はなかなか行うことができないことを体験することで、気分転換ができた様子でした。

帰りのお土産コーナーでは、ご家族様のことを考えながら時間をかけて納得がいくものを選び、「これは絶対喜ぶわ！」と目を輝かせていました。今後も旅行や外出が増えていくと思いますが、ご利用者様の安全管理に努め、楽しんでいただける企画を練っていきたくと考えています。



成長を続ける仲間たち

グループホーム タートルベア

塔ヶ崎健さん

『グループホーム・タートルベア』にて、優しく頼れるリーダー的な存在として日々奮闘している塔ヶ崎さん。

勤務先の『リクシル大和工場』でも大変真面目に働いています。三月に念願の自家用車を購入し、気分も新たに毎日を過ごしています。今回はそんな塔ヶ崎さんの声を聞いてみました。

☆念願の自動車を購入して！

ついに自分の車を購入することができました！担当職員と相談しながらの購入でしたが、好みの車をゲットできてとても嬉しいです！今まで頑張った仕事をしてきたご褒美のような気持ちで、更に自信になりました。

でも、喜んでいるばかりではなく、車に乗るといことは、それだけ責任感も持たなければならぬとも感じています。車での通勤を始めて一年近く経ちますが、今でも緊張しますし、これからもその気持ちは忘れずに運転したいと思っています。

これからの活躍も期待しています！



掃除もウキウキの

塔ヶ崎さん♪

真壁のひな祭り開催中！

コロナ禍以降初めての開催となった去年。徐々にお客様も戻ってきたように感じます。筑紫会では、おもてなしの心を携えて『ひなの家』を運営し、地域との交流を図っています。

色とりどりの雛飾りの展示はもちろんのこと、広い敷地を使用した駐車場、筑紫会で大切に育てている野菜や、真心込めた手芸品の販売、ご利用者様の作品の展示など、趣向を凝らしてお客様をお迎えしております。真壁へお越しの際は是非お立ち寄りください。

SNS更新中

各SNSにて、ご利用者様の日々の活動の様子を更新しています。

Facebook



Instagram



コーヒー事業の躍進

【真壁授産学園】

『桜川アイス』というものをご存じでしょうか。加波山市場にて企画・販売されている、栗や落花生など桜川市の特産品を使用した贅沢なカップアイスです。この度、加波山市場のご担当者様よりお声掛けをいただき、授産学園にて生産している『294COFFEE』も使用していただく運びとなりました。

☆絶品の美味しさ

『294COFFEE』は、五十年こだわり続けた焙煎家と、真壁授産学園が共同開発した最高級のコーヒーで、『溶岩窯パン工房マカパン』や、様々なイベントにて販売しております。珈琲事業部のご利用者様の活躍も存分に発揮された『自家製珈琲シロップ』が練りこまれたミルクィなアイスは、老若男女問わず楽しんでいただける優しい味わいになっています。

パッケージには、『真壁授産学園』の文字も刻まれています。



☆モチベーションアップ！

授産学園で作っているコーヒーが絶品アイスに使用されていることで、ご利用者様のモチベーションもアップ。今まで以上に張り切って毎日頑張っています。

実際に「あの桜川アイスに使われているコーヒーですよ！」とお声掛けいただくこともあり、少しずつ『294COFFEE』も知っていただけていることを実感しました。桜川アイスは加波山市場で現在絶賛販売しております。ぜひご賞味ください！

施設内改修工事完了報告

トイレ改修工事完了

【真壁厚生学園】

今年度は、昨年度に引き続き残っていた和式トイレ（四ヶ所）を洋式トイレに改修いたしました。これにより、当学園にある和式トイレはすべて洋式トイレへと改修が完了いたしました。

日々の生活を送る中で、ご利用者様の高齢化による筋肉の衰えなどを感じており、今後、転倒リスクも増える可能性があります。今年度は、より安心してトイレを使用することができるようになりました。令和五年十二月十一日に無事、工事が完了しましたことをここに報告いたします。

○改修工事費 1,723,700円

ありがとう 善意の心

○寄付・寄贈 (順不同)

堀越栄治郎様/桜川市長大塚秀喜様
白田信夫様/小林正紀様/林悦子様
大山和則様/筑波銀行真壁支店様
鈴木史彦様/成田利夫様/大関隆弘様
三橋輝男様/稲葉勉様/吉原毅様
ティック様/宮本電業様/宮山光男様
大木電気商会様/中島勲様/中島涉様
水戸信用金庫真壁支店様/斉藤宗裕様
桜川市社会福祉協議会様/Zeus様
紫峰厚生園様/NPO法人柴学園様
ピアしらとり様/永光パートナーズ様
兼村匠人様/眞木麻奈様/藤田和子様
白井もき商店様/塩野谷自動車商会様
高橋一雄商店様/細島牛乳店様
岡田農機具店様/岡田仁一様/魚徳様
キアローヘアー様/丸兼商事様
Yist合同会社様/山田哲也様
橋本時計メガネ店様/豊島洋子様
チクセイ21様/木代猛様/道興業様
季節料理ひら井様/落合清成様
飛田武志様/水子学様/児玉百合香様

○ご父兄様 (順不同)

岡部正敬様/浅野敬繁様/高田章様
嶋原康博様/小田島郁夫様/君山誠様
加藤梅子様/根本明様/坪野谷隆夫様
木口茂様/野寺道子様/榎戸斗史夫様
白井猛様/小須田すみ江様/柴吉力様
工藤忠男様/大関丈彦様/佐藤義夫様
斉藤浩様/皆川美智子様/斉藤俊夫様

大塚たま様/古沢道子様/広瀬均一様
細野庸一様/菅谷元一様/袖山裕展様
根本陽市郎様/沼尻功様/田中芳信様
飯塚勝男様/高松三夫様/村山道春様
早川美保様/森田悦子様/飯田正夫様
村山英雄様/安藤昌知様/伊藤勝也様
岩渕二郎様/大野竜也様/川津忠男様
笹目俊夫様/富田良子様/内藤俊彦様
根岸道子様/根岸卓也様/油原邑江様
柴山貞夫様/中村講治様/栗島民男様
小田島郁夫様/飯村久様/小池初美様
上之門百合子様/郡司浩様/野口宏様
石山世喜子様/廣岡久様/酒寄輝和様
後藤新一郎様/荒山悟様/正根知進様
中里大祐様/藤田明裕様/森下松寿様
西村悦子様/飯島直様/小島美代子様
大塚昇様/酒寄誠様/郡司多己夫様
藤田直子様/和田徹様

○ボランティア (順不同)

高杉希望様/板倉瑠奈様/坂本光海様
土田良子様/兼村匠人様/兼村綾奈様
佐久間瑠美様/大塚琳様/福原佑理様
瀧川朱音様/瀧澤佑奈様/武井沙織様
栗崎豪気様/木村慎吾様/小山妙子様
村野井咲弥様/三浦真理子様
高畑日菜乃様/宮本成美様/安達凜様
笠井姫華様/グリーンローズ様
下館第二高等学校ダンス同好会様
桜川中学校吹奏楽部様/桜乃舞様
○奉仕作業 (順不同)
授産学園 二十家庭二十二名
厚生学園 二十七家庭三十三名

☆令和五年度表彰者☆
受賞おめでとうございます。
☆全国社会福祉協議会会長表彰
支援員 飯島 忠男 (厚生)
支援員 村山 洋幸 (厚生)
看護師 鈴木 ゆみ子 (厚生)
☆全国社会就労センター協議会
永年勤続表彰
副園長 高橋 浩成 (授産)
副園長 高橋 浩成 (授産)
☆知的障害者福祉事業功労者表彰
副園長 高橋 浩成 (授産)

新規職員紹介♪

真壁授産学園 事務員
荒井 加奈恵 (12/1付)

- ①出身地 筑西市 ②趣味 読書
③好きな言葉 足るを知る者は富む
④一言メッセージ 「福祉の仕事は初めてですが、一日でも早く皆様のお役に立てるように頑張ります。よろしくお願います」

○おいしいお米をいただきました！

今年も京葉鈴木グループ代表、鈴木孝行様より、両施設へお米三十キロを頂きました。今年もたくさんのお米を寄付していただき、感謝いたします。

西学園の事業にご支援頂き

誠にありがとうございます。この場をお借りいたしました。御礼申し上げます。

入、退所者・入職者のお知らせ

- ◇通所利用者 12/1付 森 庸江 (授産)
◇退所利用者 11/15付 豊島美智子 (授産)

苦情解決・相談

令和五年度苦情受付のご報告を致します。

- 1. 苦情申出件数 2件
2. 苦情内容
○職員の対応方法に関わる事項
○学園の犬に関わる事項
3. 苦情解決状況
受付内容を精査し、改善致しました。施設のサービスに苦情があった場合には、それぞれの施設に苦情申し入れをお願い致します。

◎筑紫会苦情受付担当

真壁授産学園 高橋・大山 (029615514007)
真壁厚生学園 吉原(晴)・杉山 (029615412578)

編集 後記

今年度は和田・高信・廣・志賀・枝(授産)、平井・木村・高久・岡本・宮田・大山(厚生)が編集致しました。暖冬の影響もあり、寒暖差が大きい日が続いています。感染症対策も併せて、お気をつけてお過ごしください。